

# 伊豆歴史文化大学

— 特異な自然が育んだ唯一無二の歴史と文化 —



谷文晁の絵画にも描かれた石廊崎（南伊豆町）

伊豆半島とその周辺は、さまざまな自然災害が頻発する一方で、自然現象がもたらした地形・景観・産物が、そこに暮らす人々に大きな恵みを与えてきました。

本講座は、伊豆半島の自然の恵みと災害の歴史を振り返るとともに、それらが地域の社会基盤や文化形成に与えた影響を最新の研究成果にもとづいて学びながら、伊豆独自の自然・歴史・文化の価値の再認識を試みます。

令和8年

5月18日・6月22日・7月27日  
8月31日・10月5日

全5回 いずれも月曜日

時間 18:00-20:00 (開場17:45)

対象者 ジオガイド、観光関係者  
学生など、どなたでも参加可能

参加費 無料

定員 対面30名、オンライン視聴あり  
要事前申込

会場 静岡大学東部サテライト  
(伊豆市青羽根65-1) 駐車場あり

申し込み  
お問合せ 対面申し込み期間 4/17(金)~5/8(金)  
※対面は定員に達し次第締め切り  
オンラインは各回開催1週間前までOK

QRコードよりお申し込みいただくか  
静岡大学東部サテライト  
toubu-entry@adb.shizuoka.ac.jp  
0558-79-3500(平日10:00-16:00)  
までご連絡ください。



## テーマ・講師

※興味があるテーマの回のみ参加も可能です。

### 第1回 (5/18) 伊豆の鉱山

小山真人 (静岡大学防災総合センター) 伊豆半島の地質と鉱床  
金子浩之 (立正大学文学部) 伊豆の金・銀・銅・鉛と鉄の生産史  
木村 葵 (静岡大学東部サテライト) 大仁金山をめぐる最近の動き

### 第2回 (6/22) 伊豆の温泉

小山真人 伊豆半島の地熱と温泉  
金子浩之 伊豆の温泉利用の歴史  
栗木 崇 (熱海市教育委員会)  
伊豆権現 (伊豆山神社) が歴史に果たした役割

### 第3回 (7/27) 伊豆の特産物

小山真人 伊豆のわさび田と地質の関係  
金子浩之 伊豆の製塩史・石材・海産物・木材

### 第4回 (8/31) 伊豆の大地とアート

小山真人 絵画・写真に残る伊豆の大地  
片岡勲人 (東海大学観光学部) 近世絵画に描かれた伊豆の風景  
松本由奈 (伊豆市教育委員会) 近代絵画・写真に描かれた伊豆の風景

### 第5回 (10/5) 伊豆の海と災害

小山真人 ディアナ号の津波被災とその後の軌跡  
金子浩之 伊豆の造船と海難事故の歴史



大仁鉱山の選鉱場跡 (伊豆市)



## 全回講師・世話人 小山真人（こやま・まさと）

静岡大学名誉教授、同大学防災総合センター客員教授。伊豆東部火山群防災協議会委員、美しい伊豆創造センター・ジオパーク委員会顧問なども務め、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの認定に貢献した。地質学・火山学・歴史地震学などを専門とし、伊豆半島とその周辺の大地の成り立ちを45年以上にわたって研究している。主な著作：「伊豆の大地の物語」静岡新聞社、「ドローンで迫る伊豆半島の衝突」岩波書店など。NHKブラタモリ「富士山」「三保松原」「浜松」「伊東」案内人。



## 第1・2・3・5回講師 金子浩之（かねこ・ひろゆき）

立正大学文学部非常勤講師、元伊東市教育委員会学芸員。考古学を専門とし、古代から近現代にわたる伊豆半島の歴史にも精通する。20年以上にわたって伊東市史の編集担当を務めた。伊東市のほか南伊豆町など伊豆半島内の主要遺跡の発掘にも携わる。明応年間に相模トラフのプレート境界巨大地震があったとする「明応関東地震説」を提唱して注目を浴びている。主な著作：「戦国騒乱と巨大津波」雄山閣、「江戸築城と伊豆石」吉川弘文館など。NHKブラタモリ「伊東」案内人。



## 第1回講師 木村 葵（きむら・あおい）

静岡大学東部サテライト研究補佐員。伊豆市瓜生野・大仁金山の麓で育つ。千葉大学園芸学部緑地環境学科にて、風景計画学を専攻。実家に残る史料「大仁鉦山同盟立免状」の発見を契機に、金山・鉦山に関する地域研究に着手する。現在は、伊豆の金山群に関する意見交換会「百笑ミーティング」を立ち上げ、調査と現地保全に資する地域コミュニティ形成に取り組んでいる。また、修善寺温泉ローカル文芸マガジン『湯文好日』において建築探訪の連載など、地域文化や景観資源の記録発信も行う。



## 第2回講師 栗木 崇（くりき・たかし）

熱海市教育委員会生涯学習課学芸員、國學院大學研究開発推進機構共同研究員。伊豆権現（現在の伊豆山神社）の歴史的展開や歴史時代の伊豆地域石材の生産と流通に関心を持っている。主要著作「時代を作った技 中世の生産革命」国立歴史民俗博物館振興会、「江戸築城と伊豆石」吉川弘文館、「熱海温泉誌」出版文化社、「宮古島諸島地域における外囲を有する石組墓（ミヤカ）に関する一考察」国立歴史民俗博物館研究報告、「走湯山別当密厳院と「衆徒」について」國學院大學博物館研究報告、「中世の関所の起源についての一考察-小田原関を中心に-」國學院大學研究開発推進機構紀要など。



## 第4回講師 片岡勲人（かたおか・いさと）

東海大学観光学部准教授、近世絵画の写実性と時代背景を考察する研究に取り組んでいる。江戸時代後期の日本画家による風景絵画と現地風景を比較することで、近世絵画の写実性の特徴を明らかにするとともに、当時の時代背景を検討している。これまでに、河村岷雪の「千本松 駿州 沼津」『百富士風刊』（1767年）や、谷文晁の『公余探勝図』（1793年）を対象としてきた。片岡が開発したシステムは、旧版地図・地形モチーフ・カメラ位置を連動させ、作画当時の視界を3次元CG空間に可視化することで、視点推定の妥当性を検証している。



## 司会・進行ならびに第4回講師 松本由奈（まつもと・ゆな）

伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局、池田20世紀美術館学芸員などを経て、現在は伊豆市教育委員会学芸員。主に伊豆市内の近世～近代文学・美術を中心に調査を続けている。これまでに、伊豆市資料館で「伊豆市 国学が蒔いた種～新収蔵資料を中心に～」(2023年)、「井上靖と郷里の人々の絆～故里美し～」(2025年)、「げんてい先生 天城を愛した画家・西村愿定」(2026年)などの展覧会を担当。



わさびの栽培（伊豆市）